

『世界オカピの日』 イベントにおけるオンラインシンポジウムと教育グッズ製作の実施報告

森田 菜摘

よこはま動物園では、毎年 10 月 18 日の「世界オカピの日 (World Okapi Day)」に合わせて、来園者に向けたイベントを実施している。イベントの目的は、オカピという動物への理解、関心の向上と野生個体の保全活動への啓発である。今回は 2021 年 1 月に実施したオンラインシンポジウムと 2022 年 10 月に製作した「オカピすごろく」というオリジナルの教育グッズの概要について報告する。

2021 年は新型コロナウイルス感染症の影響が続いていたこともあり、園内での対面イベントが制限されていたため、よこはま動物園主催としては初めてとなるオンラインシンポジウムを開催することとした。配信には ZOOM を使用し定員を 90 名で参加費無料とした。直接来園できない利用者にも動物園の活動を知ってもらう事と対面ではハードルの高い海外の専門家の話を聞く事を目的とした。実施後は、参加者データとアンケートの結果を過去行った対面シンポジウムの内容と比較した。

2022 年は、外部のイラストレーターと連携して『オカピすごろく』という教育グッズを製作した。このすごろくは各マスにオカピの生態や保全に関する情報がわかりやすく書かれており、おおよそ小学生以上を対象に遊びながら野生動物の知識が身につくようにデザインした。すごろく本紙にはバナナペーパーというリサイクル用紙を使い、サイコロは木製にするなど環境に配慮した材料を使用した。1 部 500 円で、イベント当日に園内のオカピ展示場前で販売し約 60 部を売り上げた。売り上げから原価を抜いた金額を全て、オカピの保全団体に寄付したことで、参加者が動物園で関心を持った動物の理解を深め、最終的に保全活動に間接的に参加する仕組みを作ることができた。